

やまぐちっ子学力向上だより

第 7 7 号 H28.6.20
山口県教育庁義務教育課

学力向上プランニング研究協議会を受けて

～ 全国学力・学習状況調査を最大限に活用して、指導の充実・改善を図りましょう ～

去る5月中旬に、セミナーパークを会場として、学力向上プランニング研究協議会を開催しました。この研究協議会は、昨年度まで行っていた「活用する力を高める研究協議会」に代わるものとして、今年度から始めたものです。国立教育政策研究所から4名の学力調査官をお招きし、全国学力・学習状況調査を踏まえた学力向上に関する指導講話をいただきました。

<平成28年5月17日(火)>中学校学力向上プランニング研究協議会

指導講話：国立教育政策研究所教育課程研究センター 黒田 諭 学力調査官(国語)
佐藤 寿仁 学力調査官(数学)

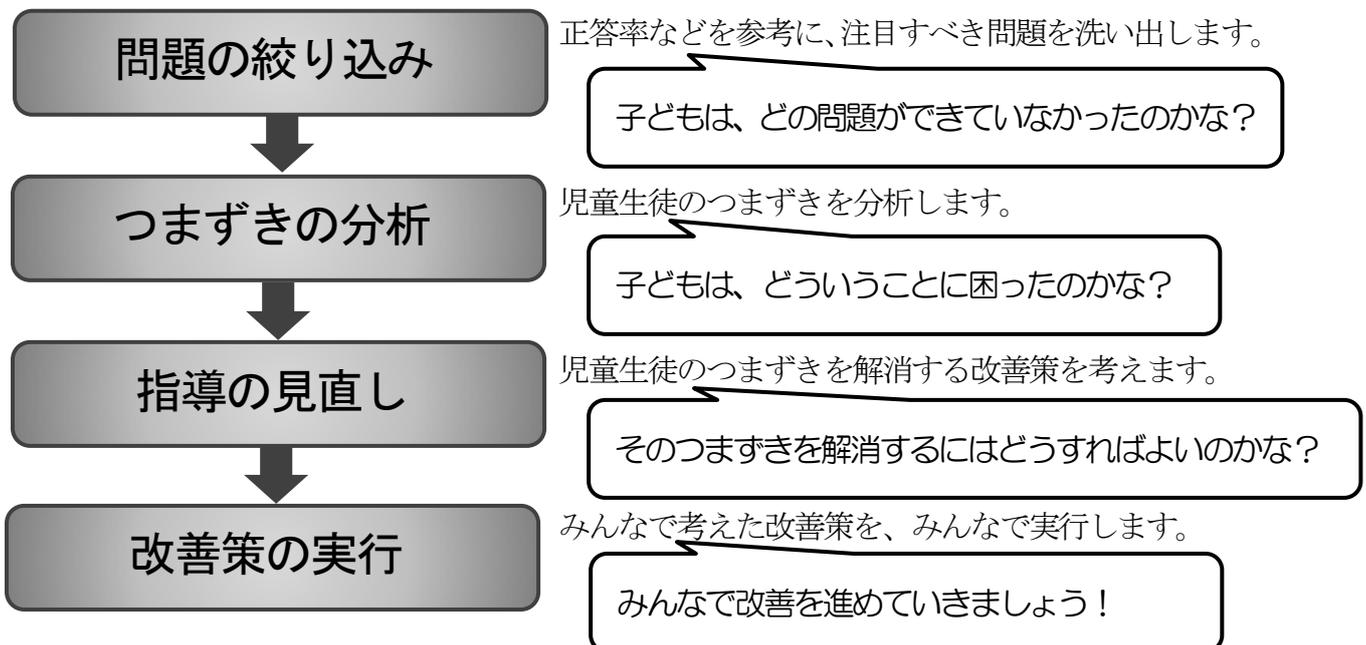
<平成28年5月24日(火)>小学校学力向上プランニング研究協議会

指導講話：国立教育政策研究所教育課程研究センター 西川 さやか 学力調査官(国語)
小松 信哉 学力調査官(算数)

具体的な問題を取り上げながら、求められる資質や能力について丁寧に説明していただいたり、実際の授業の様子を写真や動画で紹介していただいたりするなど、各学校における今後の学力向上の取組を進める上で大いに参考になる内容がたくさんありました。

指導講話の中で、4名の調査官ともに「**誤答分析に基づく指導改善の取組**」について話をされました。具体的には、下のような流れで行われることになります。

【誤答分析に基づく指導改善の取組】



この「誤答分析に基づく指導改善の取組」は、日々の授業で、児童生徒の学びと向き合っている学校にしかできない取組です。各学校においては、県教委や市町教委から提供される数値で全体の傾向を把握し、一人ひとりの子どもに寄り添いながら、取組を進めてください。

あの子は、見方や考え方は間違っていないけれども、それをうまく説明することができていなかったんだな。

今後は、説明のポイントを教えてあげると、自信をもって発表もできるかな。



うちのクラスの子どもは、文章を書くことには慣れてきたけれども、きちんと目的に応じた文章が書けている子どもと、そうではない子どもがいることが改めて分かったわ。今度、授業で、お互いの文章を読み合っ、コメントをする活動に取り組んでみようかな。

なお、県教育委員会では、『学力向上支援資料』を作成し、6月中旬以降、各市町教育委員会を通じて、各学校にお届けしているところです。この『学力向上支援資料』は、各学校における学力向上の取組を支援することを目的に、多くの学校で校内研修に活用していただけることをめざして作成しました。ぜひ、積極的にご活用ください。



これが表紙のイメージです。
この資料の中にも、誤答分析について説明しているページがありますので、参考にしてください。

【『学力向上支援資料』の内容構成】

- I 学習内容のつながりを意識しながら、効果的な指導を心がけましょう
- II 全国学力・学習状況調査を組織的・計画的・継続的に活用しましょう
- III 学校質問紙から見えてくる「求められている学校の姿」を共有しましょう

夏休みまでにできること・やるべきことを確認しましょう

早いもので、6月も終わりに近づいています。夏休みが子どもたちにとって充実した日々になるように、あと1か月でできること・やるべきことを整理し、教職員全員で確認しましょう。

学力向上に関しては、次のような点に注目し、学校でできること・やるべきことを確認してください。

- 夏休みまでの授業について…指導計画に基づいた指導、育成すべき資質や能力の定着 など
- 夏休みまでの補充学習について…今の学年までに学習した内容の確実な定着 など
- 夏休みの家庭学習について…夏休み中の課題に関する情報共有、家庭における学習習慣の徹底 など
- 家庭への情報発信について…児童生徒の学力状況に関する情報交換 など

